

平成22年9月2日(木)～3日(金)

道東地域林政連絡調整会議が開かれる

9月2～3日の2日間にわたり、標津町及び羅臼町において、道東地域林政連絡調整会議が開かれました。この会議は、国有林と民有林の協力・連携強化のため、十勝、釧路、根室(総合)振興局管内の道林務及び道有林関係職員、国有林関係職員が集まり、各地域の森林・林業に係る課題、取組の情報交換を行うものです。当センターも同会議の構成員となっており、2日間にわたり参加しました。

今回は「自然環境に配慮した森林施業、施設整備」をテーマに現地視察及び室内協議が行われました。羅臼町では 治山ダムに魚道工を新たに設置した工事箇所、標津町では カラマツとトドマツの複層林施業展示林、 防風林機能を強化する目的で行われている標津町有林防風林施業について、 魚道機能回復のために行われた治山ダム切り下げ工実施箇所、の4箇所を見て回りました。2日目は、根釧東部森林管理署会議室を会場に、各機関から取組内容や課題について報告があり、意見交換を行いました。

道有林・民有林と国有林との連携は、お互いの人を知り、取組を知ることが大切です。今回の会議を通してそのきっかけができたことから、今後の連携に生かしていきたいと思います。



治山ダムに魚道工を新たに設置（羅臼町・民有林）



治山ダム切り下げ工箇所（標津町・国有林）



標津町有林防風林施業箇所



室内協議の様子